

# 4年生防災士が提案する 愛媛の未来

松山市立北久米小学校

4年 大塚 景仁

# 目次

研究のきっかけ	1
研究の目的	2
研究の計画	2
研究の実際	3
1 防災士について調べてみる	3
2 全国の防災士の状況について調べてみる	5
3 愛媛県の防災士の状況について調べてみる	8
4 防災士資格取得試験を受けてみる	11
5 防災士になって今後のことを考えてみる	13
6 愛媛県に提案してみる	13
研究のまとめ	18

# 研究のきっかけ

ぼくが通っている民間学童保育 g-kids は、「命を守ること」を大切にしています。そこで防災ミーティングや防災キャンプなどを体験して、防災に興味を持ちました。代表の高田さんは防災士です。地震や豪雨災害、避難所でのアレルギー対応、マイタイムラインの作成などいろいろなことを教えてくれました。そしてぼくは、体験したことや学んだことを家族に伝えました。すると、家族も防災・減災対策をして備えておくことの大切さを分かってくれました。

家族みんなでハザードマップを確認したり、避難訓練をしたり、防災キャンプをしたりしました。命を守るために何を準備して、どんな行動をとればいいのかを話し合っていくうちに、それまでは「こわい」

「死ぬかもしれない」と思っていた災害に対して、少し安心感が生まれました。備えておくことで、災害は減らすことができるということが分かりました。そして、自分の命を守るのは自分だということも分かりました。もしも、災害が起こっても、ぼくは生きのびることができるという自信にかわってきました。

ぼくも、高田さんのように、命を守るための知識を身につけ、それ

をたくさんの人に伝えて命を守る役に立ちたいと思い、まずは、防災士資格を取るところから始めました。

## 研究の目的

- 目的1 防災士とはどのような資格か、分かるようになる。
- 目的2 防災士になるにはどうしたらいいか身をもって体験する。
- 目的3 自分が今考えていることを愛媛県に提案する。

## 研究の計画

- 1 防災士について調べてみる
- 2 全国の防災士の状況について調べてみる
- 3 愛媛県の防災士の状況について調べてみる
- 4 防災士資格取得試験を受けてみる
- 5 防災士になって今後のことを考えてみる
- 6 愛媛県に提案してみる

# 研究の実際

## 1 防災士について調べてみる

防災士とは、“自助”“共助”“協働”を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを日本防災士機構が認証した人です。

### (1) 自助

「自分の命は自分で守る。」

自分の安全は自分で守るのが防災の基本です。災害時に命を失ったり、大けがをしてしまったりしたら家族や近くの人を助けたり、防災士としての活動をする事もできません。まず、自分の身を守るために日頃から身の回りの備えを行い、防災・減災に関する知識と技能を習得し、絶えずスキルアップに努めます。

### (2) 共助

「地域・職場で助け合い、被害拡大を防ぐ。」

災害の規模が大きければ大きいほど、消防、警察などの公的な救援活動が十分に機能するまでには一定の時間がかかります。そこで発

災直後における初期消火、避難誘導、避難所開設などを住民自身の手で行うために、地域や職場の人たちと協力して、災害への備えや防災訓練を進めます。防災士は、そのための声かけ役となり、リーダーシップを発揮します。

### (3) 協働

「市民、企業、自治体、防災機関等が協力して活動する。」

日頃から、行政をはじめ防災・減災に関わる多様な機関、団体、NPOなどと密接に連携し、防災訓練等の活動を通じて、お互いに顔の見える関係をつくり上げ、「災害に強いまちづくり」をすすめます。また、大規模災害が発生した際には、それぞれが可能な範囲で被災地救援・支援活動に取り組みます。

(日本防災士機構防災士教本 2024 年より引用)

## 2 全国の防災士の状況について調べてみる

全国の防災士認証登録者数 294,016 名（2024 年 8 月末現在）

8 月の防災士認証登録者数 2,186 名

日本防災士機構は、阪神・淡路大震災の教訓の伝承と市民による新しい防災への取り組みを推進し、我が国の防災と危機管理に寄与することを目的に 2002 年（平成 14 年）に創設されました。国を初めとする公的な財政支援によるものではなく、純然たる民間自律の発想と、民間パワーによる努力によって地域防災力の向上に貢献しています。現在、全国の地方自治体や国立大学等の教育機関、民間研修機関において積極的な防災士の養成の取り組みが進められ、それぞれの地域の自主防災組織や学校、福祉施設、事業所等で防災士の配置・活用の動きが広がっています。

防災士養成研修と資格取得試験は 2003 年から始まりました。最近、災害が多発していることを反映して関心が高まり、受験者が急増しています。

（日本防災士機構防災士教本 2024 年より引用）

## 都道府県別 防災士認証登録者数

2024年8月末現在

都道府県	防災士数	都道府県	防災士数	都道府県	防災士数	都道府県	防災士数	都道府県	防災士数
北海道	5,926	埼玉県	9,907	岐阜県	9,471	鳥取県	1,867	佐賀県	1,785
青森県	3,852	千葉県	8,493	静岡県	5,112	島根県	1,436	長崎県	2,352
岩手県	3,846	東京都	24,162	愛知県	11,223	岡山県	5,101	熊本県	4,885
宮城県	8,105	神奈川県	9,962	三重県	3,320	広島県	6,840	大分県	13,697
秋田県	1,749	山梨県	2,081	滋賀県	3,573	山口県	2,952	宮崎県	7,273
山形県	2,592	長野県	4,291	京都府	2,865	徳島県	6,401	鹿児島県	2,346
福島県	4,602	新潟県	6,496	大阪府	12,117	香川県	3,933	沖縄県	1,922
茨城県	6,109	富山県	2,825	兵庫県	9,991	愛媛県	23,941	外国	3
栃木県	4,738	石川県	9,973	奈良県	4,203	高知県	6,523		
群馬県	2,877	福井県	4,440	和歌山県	3,208	福岡県	8,650	合計	294,016

## 都道府県別防災士認証登録者数(日本防災士機構 H P

【<https://bousaisi.jp/wp-content/themes/fcvanilla/pdf/ninshiyo-data.pdf>】より)

1位 東京都 24,162名

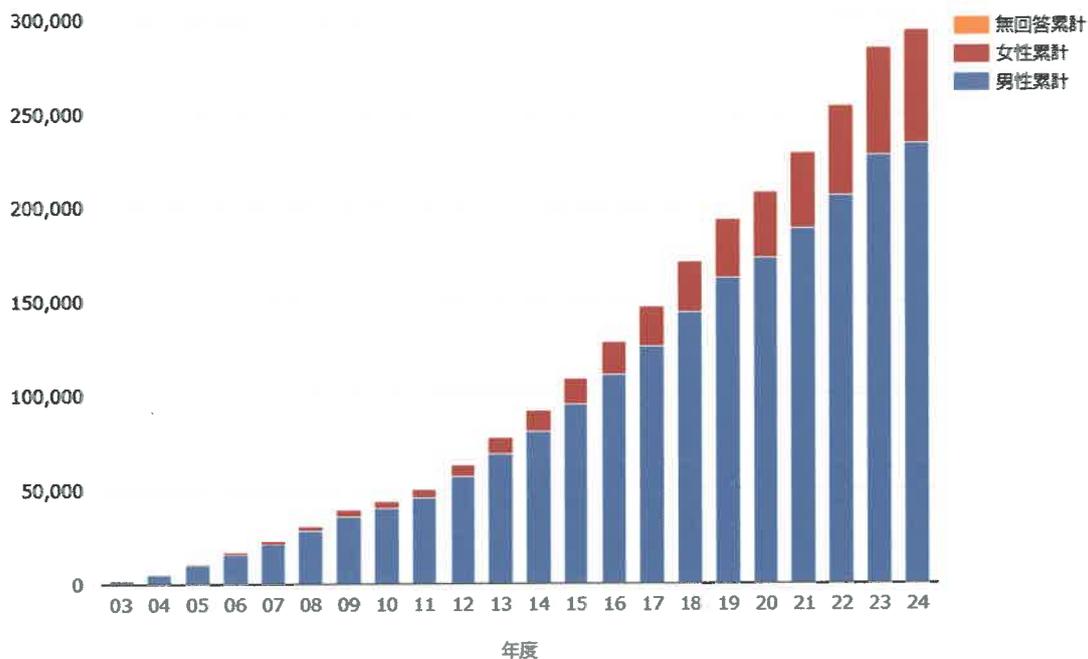
2位 愛媛県 23,931名

3位 大分県 13,697名

4位 大阪府 12,117名

5位 愛知県 11,223名

愛媛県の防災士が約300人増えたら、全国1位になります。人口の多い東京都に追いつきそうなんて、すごいと思います。このことをもっと県全体に知らせて、全国1位を目指したらいいと思います。



### 防災士認証登録者の年度別推移・男女別防災士数

(日本防災士機構 H P 【<https://bousaisi.jp/aboutus/#anchor01>】 より)

防災士の数は、毎年増え続けていることが分かります。男女別では、男性の方が圧倒的に多いけれど、女性も少しずつ増えているということが分かります。これから、男女問わずたくさんの人に防災に関する知識を身につけてもらって、地域で活躍できる人が増えてほしいと思います。

### 3 愛媛の防災士の状況について調べてみる

愛媛県の防災士 23,941 名 (2024 年 8 月末現在)

人口が最も多い東京都の次に愛媛県の防災士数が多いなんて驚きました。人口÷防災士数をすると、防災士一人当たりの人口が出るので、計算してみました。数が少なければ少ない程、防災士一人当たりがカバーする人口が少なく、手厚いということになります。逆に、防災士一人当たりの人口が多ければ多い程、防災士一人当たりがカバーする人口が多く、手が回らないということになります。

人口は、2024 年 8 月現在で各都道府県のホームページで調べられる最新の情報を万の位までで四捨五入しました。

1 位	愛媛県	$128 \text{ 万} \div 23,941 = 53$	約 53 人
2 位	大分県	$110 \text{ 万} \div 13,697 = 80$	約 80 人
3 位	高知県	$66 \text{ 万} \div 6,523 = 101$	約 101 人
4 位	石川県	$110 \text{ 万} \div 9,973 = 109$	約 109 人
5 位	徳島県	$69 \text{ 万} \div 6,401 = 110$	約 110 人

防災士数 1 位の東京都は、防災士一人当たりの人口が 586 人でした。防災士数はとても多いけれど、人口もとても多いので、まだま

だ防災士が足りていないと思います。ちなみに最も防災士一人当たりの人口が多かったのは、神奈川県で926人です。

愛媛県は防災士一人当たりの人口が少なく、防災士の目や手が届きやすい県だといえます。また、災害が起こる前にも、愛媛県内各地域の防災士による啓発活動や情報発信を行い、備える人が増えたらいいと思います。これから、どうにかして防災士数で東京都を抜いて、全国1位ということを目指していきいと思います。



(2024年9月26日付愛媛新聞より)

松山市は、全国の市区町村の中で初めて1万人を超えました。企業や団体で資格取得を後押ししたり、試験費用を補助したりして、資格取得がしやすい仕組みを作っているそうです。

防災士認証登録者数(都市別:市町村合併反映)

2024年8月末認証現在

◎東京都23区

都市名	人数	都市名	人数
足立区	1150	墨田区	437
荒川区	308	世田谷区	1991
板橋区	769	台東区	289
江戸川区	805	中央区	435
大田区	930	千代田区	549
葛飾区	803	豊島区	399
北区	500	中野区	727
江東区	1141	練馬区	1042
品川区	602	文京区	480
渋谷区	410	港区	1718
新宿区	668	目黒区	711
杉並区	802		

◎政令指定都市(20市)

都市名	人数	都市名	人数
北海道札幌市	1759	愛知県名古屋市	3449
宮城県仙台市	4521	京都府京都市	983
新潟県新潟市	1541	大阪府大阪市	3113
千葉県千葉市	1034	大阪府堺市	1669
埼玉県さいたま市	2116	兵庫県神戸市	2562
神奈川県横浜市	3756	岡山県岡山市	1180
神奈川県川崎市	1820	広島県広島市	3282
神奈川県相模原市	954	福岡県福岡市	2761
静岡県静岡市	967	福岡県北九州市	684
静岡県浜松市	608	熊本県熊本市	1867

◎中核市(62市)

都市名	人数	都市名	人数
北海道函館市	317	愛知県一宮市	396
北海道旭川市	272	滋賀県大津市	1350
青森県青森市	864	大阪府豊中市	372
青森県八戸市	586	大阪府吹田市	437
岩手県盛岡市	503	大阪府高槻市	371
秋田県秋田市	411	大阪府枚方市	395
山形県山形市	758	大阪府八尾市	332
福島県福島市	721	大阪府寝屋川市	191
福島県郡山市	690	大阪府東大阪市	303
福島県いわき市	1148	兵庫県姫路市	610
茨城県水戸市	426	兵庫県尼崎市	537
栃木県宇都宮市	592	兵庫県明石市	483
群馬県前橋市	438	兵庫県西宮市	807
群馬県高崎市	528	奈良県奈良市	1125
埼玉県川越市	333	和歌山県和歌山市	893
埼玉県川口市	500	鳥取県鳥取市	484
埼玉県越谷市	358	島根県松江市	353
千葉県船橋市	881	岡山県倉敷市	932
千葉県柏市	500	広島県呉市	208
東京都八王子市	804	広島県福山市	1031
神奈川県横須賀市	451	山口県下関市	412
富山県富山市	823	香川県高松市	1795
石川県金沢市	2359	愛媛県松山市	10039
福井県福井市	992	高知県高知市	3801
山梨県甲府市	505	福岡県久留米市	596
長野県長野市	594	長崎県長崎市	504
長野県松本市	418	長崎県佐世保市	419
岐阜県岐阜市	1061	大分県大分市	4518
愛知県豊橋市	894	宮崎県宮崎市	2596
愛知県豊田市	498	鹿児島県鹿児島市	1108
愛知県岡崎市	465	沖縄県那覇市	415

都市別：東京都23区・政令指定都市・中核市 防災士認証者数

(日本防災士機構HP【<https://bousaisi.jp/wp-content/themes/fcvanilla/pdf/ninshiyo-data2.pdf>】より)

これだけたくさん都市がある中で、1万人を超えているのは愛媛県松山市だけです。ぼくは、松山市民として嬉しいし、安心しました。もっと市民に知ってもらって、防災や防災士に関心を持ってもらう活動をしたらいいと思います。



- ③ 救命救急講習を受ける。
- ④ 公開講座防災士養成講座を受ける。(60分×6時間×2日間)
- ⑤ 防災士資格取得試験を受けて80%以上正解すると合格になる。

## 講座や試験を受けての感想

教本に出てくる漢字や言葉が難しかったけれど、お父さんに解説してもらいながら勉強しました。いろいろな災害について、起こる仕組みや対策を詳しく知ることができてよかったです。救命救急講習では、AEDの使い方や心肺蘇生法、背打法腹部突き上げ法などを習いました。もしも倒れた人などがいたら助けたいです。無事合格証が送られてきて、すごく嬉しかったです。



## 5 防災士になって今後のことを考えてみる

災害の対さくや備えの大切さを伝える活動をしたいです。自分の家や学校、地域でより安全安心にすごせるように、かいぜんできることがあればよびかけたいです。また、小学生でも参加できる活動があれば災害ボランティア活動もしてみたいです。防災士として、フォローアップ研修も受けて、レベルアップしていきたいです。

## 6 愛媛県に提案してみる

### 4年生防災士が提案する愛媛の未来【7つの大作戦】

- 一 【アピール大作戦】
- 二 【補助金大作戦】
- 三 【避難訓練拡大大作戦】
- 四 【参観日大作戦】
- 五 【お守り大作戦】
- 六 【自主防災組織力アップ大作戦】
- 七 【アプリ開発大作戦】

## 一 【アピール大作戦】

愛媛県は防災士が多く、防災に対して手厚い県だということを新聞やテレビ、SNS などでもっとアピールしたらいいと思います。また、小さい子からお年寄りまで参加しやすい防災に関するイベントを行ったりして、愛媛県の防災アピールや、防災に関心を持つ人を増やすチャンスにしたらいいと思います。

「まつやま防災」や「防災ポータルサイト」など便利なアプリもたくさんあるので、もっとたくさんの人に使ってもらえるようにイベントなどでアピールしたらいいと思います。

## 二 【補助金大作戦】

松山市だけではなく、他の市町でも企業や団体の後押しや補助金によって、防災士資格取得試験を受けやすくしたらいいと思います。ぼくは、企業や団体からではなく個人的に受けたので全額自己負担でしたが、個人的に受ける人も補助があったり、もう少し安くなったりしたら受ける人が増えると思います。

### 三 【避難訓練拡大作戦】

「シェイクアウトえひめ」をもっとアピールしたらいいと思います。ぼくのような子どもは、ほとんどの場合、学校での避難訓練が中心です。しかし、実際に災害が起こるのは、学校の授業中だけではありません。いろんな場所や時間を想定した避難訓練を行うよう、学校や家庭に呼びかけたらいいと思います。例えば登下校中の通学路で地震が起こったらどうするか、家で一人で留守番中だったらどうか、家族みんなが寝ている時間だったらどうするかなど、大人がいる時でも、いない時でも自分の命は自分で守れるように子どものうちから備えておく必要があります。また、地震の時と大雨洪水や台風の時では対応も違うので、災害の種類も毎回同じではなく変えるといいです。

### 四 【参観日大作戦】

家や学校のハザードマップを確認しましょう、マイタイムラインを作りましょうと呼びかけても、できる家庭とできない家庭があると思います。土曜日や日曜日など、たくさんの家の人が参加できそうな時に「防災参観日」を行い、親子で防災に関する学習ができる機会を学校で作ったらいいと思います。そして、親子で集団下校をして、

近くに住んでいる人同士で通学路や地域の安全点検もしてみたいと思います。

## 五 【お守り大作戦】

ランドセルにようかんや塩あめなど、もしもの時に命を守ってくれる非常食をお守りとして入れておくことを認めてほしいです。熱中症対策として、水筒は毎日学校に持っていきます。水分と栄養があれば、もしも家に帰れないような事態が起こっても命を守ることができます。「お菓子」ではなく、「命を守る食べ物」として、一人一人が備えておくといいと思います。その準備や交換をする中で、各家庭でも防災意識が高まると思います。

## 六 【自主防災組織力アップ大作戦】

学校や家庭は、地域と連携して防災活動をしていますか？地域によって差があるのではないかと思います。ぼくは、自分が住んでいる地域の防災活動に参加したことがありません。例えば、地域が主体となって避難所運営の訓練をするとか、そういう訓練に参加するように学校で呼びかけるとかしたらいいと思います。赤ちゃんがいる家

族や、ペット連れの人、障がいがある人はどこに避難したらいいのか、避難所の中のどこで生活したらいいのか、各家庭でも地域でも協力して考えて準備する必要があると思います。

## 七 【アプリ開発大作戦】

こんなアプリがあったらいいなというものを考えました。家族の人数や年齢、ペットの種類や数を入力すると最低限備えておきたいものや数を示してくれるアプリがあったら便利だと思います。それに、用意したものの賞味期限や使用期限を入力しておく、期限がくる1カ月くらい前に知らせてくれる機能もあればいいと思います。

ぼくの家では、一年に一回、避難グッズの確認をしています。ラジオやポータブルトイレ、非常用電源などは、一度用意しておけば使っていない限りは交換する必要がありません。水や食料は、賞味期限があります。子ども服も年齢に合わせて交換する必要があります。一年に一回の見直しでは、必要な物がそろっているかの確認と、交換するものの確認をしています。このようなアプリがあれば、初めて避難グッズを用意する時にも、その後に見直しをする時にも役に立つと思います。ぼくもアプリの開発を試してみたいです。

# 研究のまとめ

防災士資格取得試験に合格してとても嬉しかったです。防災士資格取得のために勉強していく中で、愛媛県は防災士の数がとても多いということを知りました。2024年8月現在、人口が一番多い東京都に次いで愛媛県の防災士数は全国第2位ですが、もうすぐで京都を抜いて1位になりそうです。そこで、愛媛県が防災に力を入れている県だということをとくさんの人に知ってもらうにはどうしたらいいかを考えようと思い、この研究をしようと思いました。そして、近い将来、愛媛県の防災士の数が全国1位になったら嬉しいです。万が一災害が起きた時でも、防災士が活躍して、早く正しく援助活動ができたらいいと思います。また、災害が起こる前にも備えの大切さを伝える活動をしていたら、被害も減らせると思います。

g-kids をきっかけに興味を持ち始めた防災ですが、防災士のための勉強をして今までよりももっと興味を持ちました。知識はお守りだと思います。ぼくは、防災士として予防対策の大切さを発信し、いつかではなく、今すぐ備えようと思う人を増やしたいです。

## 防災士資格取得試験結果のご通知

2024年8月1日実施の防災士資格取得試験結果について、  
下記の通りご通知致します。

記

受験者氏名 大塚 景仁 様

試験結果 合格

2024年8月9日

特定非営利活動法人

日本防災士機構



普通救命講習修了証 救急- -

氏名 大塚 景仁

上記の者は、普通救命講習 I を修了し、  
救命技能を有することを認定します。

令和6年7月28日

松山市消防局

